

スクールトピックス



桃田選手からのメッセージを鑑賞する翁島小の児童

五輪選手へのメッセージ完成 翁島小学校

本町ゆかりの東京オリンピック・バドミントン出場内定選手の渡辺勇大選手、東野有紗選手(ミックスダブルス)、桃田賢斗選手(男子シングルス)への応援メッセージ動画完成披露式は12月23日、翁島小学校で行われました。応援メッセージの制作には、町内の小中学生が参加し、各校の児童生徒が3選手に向けてエールを送りました。また、オリンピック出場予定の3選手からは、お礼のメッセージ動画が寄せられました。

12年後の自分へ手紙 小学校6年生

12年後の自分に宛てた手紙などを宝箱に入れる「えとタイムカプセル埋設式」は12月17日、猪苗代ハーブ園で行われました。埋設式には町内の6小学校から各2人の代表児童が参加。参加者を代表して緑小学校の日出山琥斗さんと安部千尋さんが将来の夢を発表しました。各校の代表児童は、手紙や思い出の品などを入れた宝箱に鍵を掛け、その鍵を入れたカプセルを同園内に埋設しました。



手紙などが入った宝箱に鍵を掛ける児童ら

高校生が献血を呼び掛け 猪苗代高校

猪苗代高校JRCインターアクト委員会の生徒7人は12月22日、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として、町役場で行われた献血に合わせてボランティア活動を行いました。生徒たちは、広報車で町内を回って協力を呼びかけたり、献血をした人に記念品などを手渡したりしました。3年の田中亜奈さんは「新型コロナウイルスの影響で血液が不足していると聞きました。多くの人に協力を呼び掛けたいです」と話しました。



記念品を手渡すJRCインターアクト委員会の生徒

野口博士の生家で団子さし 野口記念館

野口英世記念館では1月14日、五穀豊穡や無病息災を願う小正月の伝統行事「団子さし」を行いました。

団子さしには翁島小学校の1年生と3年生の児童29人が参加しました。同館の八子弥寿男館長が「新型コロナウイルスが入ってこないように、皆さんできれいに飾ってください」とあいさつした後、児童は野口英世博士の生家に設置された大きなミズキの木の枝に丁寧に団子を飾り付けました。



ミズキの木に団子を飾り付ける翁島小の児童

ホットニュース



児童・生徒がオンラインで交流

東京オリンピック・パラリンピックでガーナのホストタウンになっている町では1月26日、ガーナと町内の児童・生徒によるオンライン交流会を開きました。

本町からは翁島、千里、緑、吾妻の4小学校から各2人の代表児童が参加。学びいなど、在日ガーナ大使館、ガーナの学校などをビデオ会議アプリ「ズーム」を使ってオンラインで結びました。

交流会では、前後公町長が「オンラインで交流することで、参加した子どもたちにも有意義な時間を過ごしてほしい」とあいさつ。フランク・オチェレ駐日ガーナ大使が「子どもたちがお互いのことを知り、紹介し合うことを素晴らしいと思います。たくさん質問をして存分に楽しんでください」と話しました。

交流会に参加した児童・生徒は、自分の学校の特徴を紹介したほか、互いの国や文化などについてクイズを交えて質問し合うなど、楽しみながら親睦を深めました。

地域おこし協力隊通信

町商工観光課Instagram
QRコード



@buena_vista_inawashiro

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊



小林 澄子さん

主な活動内容：観光振興

地域おこし協力隊の小林澄子です。6月に猪苗代町に引越し、協力隊の仕事に携わりながら中ノ沢こけしの修行を続け、8カ月があつという間に過ぎました。

観光協会にも週2回勤務し、町の観光情報を学びながら、観光客の皆さんがどのような情報を求めているのか、どのような観光情報を提供しているのか日々考えています。同時に、SNSを使って情報発信しながら、問い合わせの多い定番の観光地の最新情報や季節ごとのイベント情報、体験施設など、実際に足を運んで施設の皆さんのお話を聞きながら、自分なりの視線で町の見どころや魅力を紹介しています。町内には、まだまだ紹介しきれない施設がたくさんありますので、どんどん紹介していきたい、誘客の一助になればと思っています。

町の皆さんとのつながり作りも少しずつですが構築し、一緒に地域を盛り上げていきたいと思っています。

町商工観光課のInstagramもぜひフォローしてください。リポスト拡散大歓迎です！